

学校の教育目標		進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成																		
評価段階		4…よくできている(頻繁に行っている)				3…だいたいできている(かなり行っている)				2…あまりできていない(時々行っている)		1…できていない(ほとんど行っていない)								
重点目標	実践事項	具体的方策・手立て・内容	自己評価(平均)				R5 (全体)	分析・考察(○) 改善策(☆)					学校運営協議会の意見	学校運営協議会評価						
			児童	教師	保護者	平均		分析・考察(○) 改善策(☆)												
確かな学力の子定着	日常授業の改善	1・文章や問題の読解力を鍛える授業の工夫	3.1	3.1	3.6	3.3	3.3	3.3	1 ○昨年度と比べて教師の評価が上がったのは、児童の読解力を鍛えようという意識が高まったからと言える。 1 ☆授業改善への意識が高まってきたので、引き続き校内研修の充実を図る。 2 ○「ひなたの学び」の目指すべき学びの姿を児童・家庭共に周知はできたが、浸透するには至っていない。 2 ☆目指すべき学びの姿(「ひなた」)を、教師・児童にもさらに分かりやすい形で提示していくことが必要。 3・4 ○学び合い、主体的対話的で深い学びに対する児童の意識が高まっている。しかし、教師の評価が低いのは、児童の変容がまだわずかしか見られないからである。 3・4 ☆アシリテーターとしてのあり方を追究していく必要がある。 6 ○保護者の評価が低い。家庭学習での困難さを感じている保護者がいることが考えられる。 6 ☆家庭と連携しながら、個に応じた課題にも取り組ませていく。 7 ○学校でも家庭でも読書習慣がついていない児童がいると考えられる。 7 ☆読書の環境の確保(時間の設定、家読に取り組む)、「読書の日」の頻度を増やす。 8 ○教師の評価が低いのは、地域人材の活用の負担が大きいと感じているからではないか。 8 ☆連絡調整がスムーズに行えるように、記録を残しておく。			○ ますます複雑多様な問題を抱えた児童が友愛園に入所するようになり、先生方も大変だと思います。 ○ 学力の定着に関しては、あまり意見はありませんが、家庭学習で差が生じていることは否めないと思います。保護者がお仕事の都合上、帰宅時間がまちまちで宅習を見てあげる余裕がないという悩みも聞かれます。		3.7						
		2・茶小版「ひなたの学び」を基盤とした授業の構築	3.2	2.9	3.4	3.2			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		3・個人思考を深めていくための学び合いの工夫	3.6	3.3	3.5	3.5			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		4・主体的・対話的で深い学びへの転換	3.6	2.9		3.3			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		5・ICTを活用した授業改善	3.7	3.2	3.4	3.4			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	基礎的・基本的学習内容の定着	6・基礎・基本内容の徹底指導	3.4	3.2	3.0	3.2	3.3	3.3	分析・考察(○) 改善策(☆)											
		7・読書の推奨	3.1	2.8	2.4	2.8			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	特別支援教育の充実	8・支援が必要な児童への迅速な対応		3.4	3.7	3.6			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	一貫教育の推進と外部との連携	9・地域素材や地域人材の活用及び外部との連携		3.0	3.7	3.4			分析・考察(○) 改善策(☆)											
心の豊か育な子充実	基本的生活習慣の定着	10・素早く静かな廊下歩行	3.5	2.1		2.8	3.2	3.2	10 ☆廊下歩行については、その都度根気強く指導していく必要がある。 11 ☆あいさつの指導は、根気強く職員全員で指導していきたい。 11 ○児童にとっては、挨拶は人ではなく、場所(登校後の校門、職員室、事務室、教室)でするものといった認識があるのか、決まった場所でしかできない。それ以外の場所では、ほとんどできていない。あいさつに限らず、返事や反応もいいとはいえない。全体的に受け身になっている実態がある。学校の雰囲気にも関わってくることなので、徹底した指導が必要だと思う。 12 ☆清掃については、児童の意識は高いが、実際の様子を見ると義務的にやっている感じがしている。縦割りの清掃から学年ごとの清掃に変更したことで、清掃時間以外にも学級活動等で細かな指導をしていくのではないか。 13 ○使った後の整理整頓の児童評価がかなり高いが、片付けるものを限定した質問であるために教師との意識に差があるのではないか。			分析・考察(○) 改善策(☆)					○ 三つ子の魂百までのとおり、ネグレクトで入所すると、中学生になってもなかなか生活習慣が定着しない傾向にあります。ご迷惑をおかけします。 ○ 児童、先生方、保護者の評価がされてしまうこの年齢ではよくあることです。最近は子どもたちの自己肯定感が高い傾向にありますので、それをうまく生かして大人は寄り添い自分たちで考えるという事も大切なのはと思います。 ○ 西都中学校が開校した時、小規模→大規模、子どもの人数が何百人となる中で、学力、体力ともに上位だった成績が思った以上に上がらなかつたり、生活面でも友達とうまくいかなかつたりする場面が多くなる。子どもはそれを想像する事もできないため、どう子ども達に伝えるか。	3.5		
		11・先取りあいさつや場に応じた言葉遣い	3.5	2.1	3.3	3.1			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		11・清掃活動による学校磨きと心磨き	3.6	2.7		3.2			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		13・使った後の整理整頓	3.7	2.5	2.8	3.0			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	いじめのない学校づくり	14・全教師が全児童に「かかわる」	3.8	3.9	3.7	3.8			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		15・迅速な実態把握(心タイム)		3.7	2.7	3.7	3.4		分析・考察(○) 改善策(☆)											
	規範意識・安全意識の向上	16・温かな言葉遣いを意識した学校生活	3.7	2.7	3.7	3.4	分析・考察(○) 改善策(☆)													
		17・交通安全・登下校指導の徹底(集団登下校)	3.8	3.1	3.6	3.5	分析・考察(○) 改善策(☆)													
		17・防災教育の充実	3.7	3.0	2.8	3.2	分析・考察(○) 改善策(☆)													
たくましい子の育成	基礎体力の向上	18・運動時間を保障した体育科授業の充実	3.7	3.4	3.5	3.5	3.2	3.2	21 ○基本的生活習慣の定着では、児童と教師・保護者間でのギャップが大きい。規則正しい生活についての認識に差があるのではないか。また、できている家庭とそうでない家庭との差が大きいと感じる。 19 ☆今年度の体力テストの結果から、握力の弱い児童が多いことがわかつたため、委員会活動を通して、ハンドグリップを活用した握力強化の時間を設けた。積極的な活用を推奨していく。 20 ○昼休みの過ごし方について、外で遊ぶ児童とそうでない児童とでは差が大きいと感じるが、高学年が下学年を引っ張って遊ぶ姿勢が見られるため、外遊びに参加しやすい雰囲気はできている。少年団等で運動をしている児童も多くいるため、運動習慣はある程度確立していると考える。	分析・考察(○) 改善策(☆)					○ スマートフォンの普及により、性に関する情報がかなり子ども達を蝕んでいると思われます。性指導は徹底してほしい。 ○ 性に関する指導は、長く棚に上げられていましたが、最近になってその重要性が高まってきた。保育園の方も保育指針にあり、幼児に合った絵本を活用してプライバートゾーンを知らない人に見せない、「イヤ!」「やめて!」と言えるよう伝えています。しかし難しい問題だと思います。	3.4				
		19・体カテストの結果を受けた指導及び個別指導の充実		2.8		2.8			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		20・生活の中でできる運動の推奨(ちょっと運動等)	3.6	2.9	3.1	3.2			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	健康教育の充実	21・基本的な生活習慣の定着(早寝・早起き、朝ごはん、手洗い・うがい等)	3.5						分析・考察(○) 改善策(☆)											
		21・歯みがき指導・歯の衛生に関する啓発	3.9	3.1	3.2	3.5			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		21・食育指導の推進の充実	3.6						分析・考察(○) 改善策(☆)											
		22・性に関する指導の充実		2.7		2.7			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		25・定期的な安全点検の徹底と確実な改善	3.8	3.4	3.2	3.5			分析・考察(○) 改善策(☆)											
と家庭連携地域社会	家庭及び友愛園における家庭学習の見届け	26・家庭学習の習慣化と充実に向けた保護者への啓発	3.6	2.9	3.4	3.3	3.3	2.9	28 ○天心館の職員が、PTA役員に入ったことで、学校や保護者と天心館との連携がしやすくなった。 26 ☆家庭学習の見届けについては、児童、教師、保護者で考えている内容が共通していないかと考えられる、懇談会等を利用して、共通理解する場が必要である。	○ 友愛園における発達障がい児の割合も高くなり、職員も指導に限界を感じることもあります。連携よろしく。 ○ みどりの少年団の校外活動が、本年度はあまりできていなかったと思います。 ○ 保育園でも近年課題になってきているのですが、保護者も支援が必要な家庭が増えてきつあります。保護者を励まし、ポジティブに子どもと向きあえるような配慮も大切だと思います。	3.6									
	みどりの少年団による地域への貢献	27・花植えや清掃活動		2.9		2.9			分析・考察(○) 改善策(☆)											
	保護者(友愛社)や地域との連携及び地域の福祉施設(菜花園)、保育園との計画的な交流	28・保護者(友愛社)や地域・地域施設(菜花園)、保育園等との連携		3.4	3.5	3.5			分析・考察(○) 改善策(☆)											
		29・学校、学級便り、HPの効果的な活用		3.5	3.7	3.6			分析・考察(○) 改善策(☆)											
									分析・考察(○) 改善策(☆)											
【保護者自由記述欄】</																				